

地域医療学

Community Health care

単位数：2単位

○熊倉俊一 教授：地域医療教育学
総合医療学 教授の後任

神田秀幸 教授：環境保健医学
廣瀬昌博 教授：地域医療政策学

1. 科目の教育方針

地域医療学とは、高齢化・過疎化といった地域医療の現状を見据えて、大学病院をはじめとした拠点病院と一次、二次医療機関および福祉関連施設が密に連絡しあって地域医療を展開、その展開にどのようなアプローチが存在するかを多角的にとらえることを目的とした学問である。本講義では、地域医療学の現状をとらえつつ、従来からのアプローチから先端的な研究にまでを網羅し、それが今後どのように地域医療として展開していくかということ展望させることを目的としている。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 地域医療の現状を学ぶ。
- 2) 地域福祉の現状を学ぶ。
- 3) 地域医療に必要な疫学的アプローチについて学ぶ。
- 4) 地域医療に求められる医師像について学ぶ。
- 5) 地域医療に関する研究方法について学ぶ。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 地域医療の現状とその問題点について基本的事項を説明できる。
- 2) 地域福祉の現状とその問題点について基本的事項を説明できる。
- 3) 疫学的アプローチを使って地域保健指標の評価ができる。
- 4) 地域医療における各種医療機関の役割について説明できる。
- 5) 地域医療を対象とした研究方法に関する基本的知識について説明できる。
- 6) 地域医療を対象とした研究について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義を中心に、自学自習による学習を取り入れ、自ら地域課題を見出し解決する能力を養う。

4. 成績評価の方法

講義のテーマに関するレポートおよび筆記試験

5. 使用テキスト・参考文献

World Health Organization. Increasing access to health workers in remote and rural areas through improved retention. Global policy recommendations.

<http://www.who.int/hrh/retention/guidelines/en/>

Nojima Y, Kumakura S, *et al.* Job and life satisfaction and preference of future practice locations of physicians on remote islands in Japan. *Human Resources for Health* 2015, 13:39 <http://www.human-resources-health.com/content/13/1/39>

地域医療テキスト 医学書院

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	地域医療学総論	熊倉俊一
2	世界の地域医療の現状と課題	熊倉俊一
3	島根県における地域医療の現状と将来展望	熊倉俊一
4	地域医療を担う人材育成	熊倉俊一
5	地域保健医療と疫学（1）	神田秀幸
6	地域保健医療と疫学（2）	神田秀幸
7	地域保健医療と疫学（3）	神田秀幸
8	地域保健活動の実際	神田秀幸
9	地域医療と町創り	総合医療学 教授の後任
1 0	地域医療における病院、開業医、診療所の役割	総合医療学 教授の後任
1 1	地域医療における病病連携と病診連携	熊倉俊一
1 2	地域医療における保健・医療・福祉連携	熊倉俊一
1 3	地域医療に関する研究とその方法	廣瀬昌博
1 4	ビッグデータを用いた地域医療の考え方	廣瀬昌博
1 5	地域医療に関する研究と医療倫理	廣瀬昌博